

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020年 4月 30日

都道府県知事 殿

病院名 阪南中央病院
開設者 社会医療法人阪南医療福祉センター 中田 成慶 印

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。

・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

<臨床研修について>

年次報告書

病院名：阪南中央病院（基幹型臨床研修病院）

開設者：社会医療法人阪南医療福祉センター 中田 成慶

病院施設番号：030859

臨床研修病院の名称：社会医療法人阪南医療福祉センター 阪南中央病院

※下記は、医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき作成したものです。

病院施設番号	030859	臨床研修病院群の名称	名称 阪南中央病院研修病院群 番号 0308592
担当者の氏名及び連絡先	フリガナ ニシ ジュン 氏名（姓） 西野 （名） 淳	役職：事務局長 （内線 249） （直通電話（072）333—2100） e-mail：jinji@hannan-chuo-hsp.or.jp	
1. 病院の名称	フリガナ シャカイイリョウホクジン ハンナンイリョウフクセンター ハンナンチュウオウビョウイン 社会医療法人 阪南医療福祉センター 阪南中央病院		
2. 病院の所在地及び 二次医療圏の名称	〒 580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 電話：（072）333—2100 FAX：（072）335—2005 二次医療圏の名称：大阪府南河内地区 医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 （法人の名称）	フリガナ シャカイイリョウホクジン ハンナンイリョウフクセンター ナカタ シゲヨシ 社会医療法人 阪南医療福祉センター 中田 成慶		
4. 病院の開設者の住所 （法人の主たる事務所の所在地）	〒 580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 電話：（072）333—2100 FAX：（072）335—2005		
5. 病院の管理者の氏名	フリガナ ヤマサ セイイチ 姓 山根 名 誠一		

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数	* ①参照	
7. 病院群の構成等	* ⑤参照	
8. 病院のホームページアドレス	http://www.hannan-chuo-hsp.or.jp	
9. 医師（研修医を含む。）の員数	常勤： 36 名、非常勤（常勤換算）： 3.0 名 計（常勤換算）： 39.0 名、医療法による医師の標準員数：19.6 名	
10. 救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2018 年 12 月 16 日、告示番号：第 3069 号
	医療計画上の位置付け	第二次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	有（ 122.14 ）m ²
	救急医療の実績	前年度の件数： 2229 件（うち診療時間外： 1100 件） 1日平均件数： 6.1 件（うち診療時間外： 3.0 件） 救急車取扱件数： 492 件（うち診療時間外： 199 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 3 名、看護師及び准看護師： 2 名
	指導を行う者の氏名等	* ④参照
	救急医療を提供している診療科	内科系、外科系、小児科、産婦人科、小児科 ※小児科は土曜のみ。
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）	1. 一般： 199 床、	
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数	* ②参照	
13. 病床の種別ごとの平均在院日数	1. 一般： 9.8 日	
14. 前年度の分娩件数	正常分娩件数： 509 件、異常分娩件数： 221 件	
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	開催回数	前年度実績： 0 回、今年度見込： 2 回 ※報告・届出病院の主催
	指導を行う病理医の氏名等	* ④参照 下に開催した回数を記載
	剖検数	前年度実績： 0 件、今年度見込： 2 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室：有
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無	研修医の宿舎	無（住宅手当：27,000 円）
	研修医室	無
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備	図書室の広さ	（ 13.16 ）m ²
	医学図書数	国内図書： 1000 冊、国外図書： 250 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 50 種類、国外雑誌： 4 種類

状況	図書室の利用可能時間	8 : 50 ~ 17 : 35	
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース：有	教育用コンテンツ：有
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター：有	
18. 病歴管理体制	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ ヤマト	ジュウウ
		氏名(姓) 山本	(名) 重郎
		役職 部長	
	診療に関する諸記録の管理方法	中央管理 (2018年2月以降、電子媒体にて管理)	
	診療録の保存期間	(20年間(永久)保存)	
	診療録の保存方法	電子媒体 (紙カルテは5年保存)	
19. 医療安全管理体制	安全管理者の配置状況	有(4名)	
	安全管理部門の設置状況	職員：専任1名、兼任3名 主な活動内容：「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」、「医療事故の防止のため研修及び教育」、「医療の安全性確保のための病院医療システムの検討」、「医療事故報告書検討及び事故防止マニュアル作成」など	
	患者からの相談に適切に対応する体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等：	
		フリガナ マエダ	トモコ
		氏名(姓) 前田	(名) 友子
		対応時間 (8 : 50 ~ 17 : 35)	
		患者相談窓口に係る規約：有	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 指針の主な内容： 医療安全管理の原則、事故発生対応、事故報告制度、組織運営、教育について。	
医療に係る安全管理委員会の開催状況	年12回		
	活動の主な内容： 月1回の「医療安全管理委員会」を開催。事故報告と対応策の検討。医療安全パトロール。		

医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回			
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	研修の主な内容：医療安全管理に関する講演会、事故事例分析報告。			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備：有			
		その他の改善のための方策の主な内容： 各種事故防止マニュアルを整備し、遵守の徹底を図る。各職場定例会議で事故報告事例を検討する。			
21. 現に受け入れている研修医の数			前々年度	前年度	当該年度
		1年	2	2	2
		2年	0	2	2
22. 受入可能定員	許可病床数（歯科の病床数除く）から算出	許可病床数：199床÷10=19名			
	患者数から算出	年間入院患者数：5493人÷100=54.9名			
23. 当該病院からの医師派遣実績		○ 派遣実績 0名	→	募集定員加算 0名	
24. 精神保健福祉士、作業療法士 その他診療要員の配置状況		○地域医療対策協議会等の意向の把握：無			
		1. 精神保健福祉士： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）			
		2. 作業療法士： 1名（常勤： 1名、非常勤： 0名）			
		3. 臨床心理技術者： 1名（常勤： 1名、非常勤： 0名）			
	9. その他の精神科技術職員： 0名（常勤： 0名、非常勤： 0名）				
25. 第三者評価の受審状況		無			
26. 研修プログラムの名称		研修プログラムの名称：プログラム番号： 030859202			
27. 研修医の募集定員		1年次： 2名、2年次： 2名			
28. 研修医の募集及び採用の方法	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ	ニノ	ジュン	
		氏名（姓）	西野	（名）	淳
		所属	事務局	役職	局長
		電話	（072）333—2100	F A X	（072）335—2005

		e-mail : jinji@hannan-chuo-hsp.or.jp
		URL : http://www.hannan-chuo-hsp.or.jp
資料請求先	住所	〒 580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28
	担当部門	担当者氏名
		フリガナ ニシ ジュン
		姓 名
		西野 淳
		電話 : (072) 333—2100 F A X : (072) 335—2005
		e-mail : jinji@hannan-chuo-hsp.or.jp
		URL : http://www.hannan-chuo-hsp.or.jp
募集方法		公募
応募必要書類		1. 履歴書、2. 卒業(見込)証明書、3. 成績証明書、4. 健康診断書
選考方法		面接
募集及び選考の時期		募集時期 : 7 月 1 日頃から 選考時期 : 8 月 1 日頃から
マッチング利用の有無		有
29. 研修プログラムの名称及び概要		概要 : * ③参照 (作成年月日 : 西暦 2020 年 4 月 30 日)
30. プログラム責任者の氏名等		(プログラム責任者)
		フリガナ ツヅイ ケコ
		氏名 (姓) 氏名 (名)
		坪井 慶子
		所属 役職
		放射線科 部長

31. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等	* ④参照		
32. インターネットを用いた評価システム	無		
33. 研修開始時期	西暦 2021 年 4 月 1 日		
34. 研修医の処遇	処遇の適用	病院独自の処遇とする。	
	常勤・非常勤の別	常勤	
	研修手当	一年次の支給額（税込み）	二年次の支給額（税込み）
		基本手当／月 457,300 円 賞与／年 914,600 円	基本手当／月 470,000 円 賞与／年 940,000 円
		時間外手当： 無	休日手当： 無
	勤務時間	基本的な勤務時間（ 8：50 ～ 17：35 ） 休憩時間（ 45 分 ）	
		時間外勤務の有無： 有	
	休暇	有給休暇（1年次：10日、2年次：11日）	
		夏季休暇：有 年末年始：有	
	当直	回数（約 3～4 回／月）	
	研修医の宿舎（再掲）	無（住宅手当： 27,000 円）	
	研修医室（再掲）	無	
	社会保険・労働保険	公的医療保険：協会けんぽ	
		公的年金保険：厚生年金	
労働者災害補償保険法の適用：有			
国家・地方公務員災害補償法の適用：無			
	雇用保険：有		
健康管理	健康診断（年 2 回）		
医師賠償責任保険の扱い	病院において：加入する 個人加入：任意		
外部の研修活動	学会、研究会等への参加：可		
	学会、研究会等への参加費用支給の有無：有		
35. 研修医手帳	有		
36. 連携状況	* ⑦参照		

(記入内容)

- 1 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成している。
- 2 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入している。
- 3 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入している。
- 4 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となっている。
- 5 項目番号1から25までについては、年次報告において記入している。
- 6 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入している。
- 7 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者としている。
- 8 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について⑤に記入している。

9 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

(1) 「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入している。

(2) 「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいう。

(3) 「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入している。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

(4) 「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入している。

(5) 「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均としている）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、⑥に記入している。

10 「救急医療の提供の実績」欄について

- (1) 「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入している。
- (2) 「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関のいずれかを記入している。
- (3) 「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「有」と記入し、その面積も記入している。有しない場合には、「無」としている。
- (4) 「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入している。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入している。
- (5) 「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入している。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入している。
- (6) 「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について記入している。
- (7) 「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について記入している。

11 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入している。

12 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入している。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わない。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数(小数第二位を四捨五入)}$$

13 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入している。

14 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について

- (1) 「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入している。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入している。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「有」としている。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「無」とし、剖検を大学の剖検室において行っているときは「()大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「()病院」に当該病院名を記入している。

15 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「有」とし、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入している。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「無」とし、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入している（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入している）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「有」かつ、その室数を記入している。また、研修医室を有さない場合は「無」。

16 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「有」としている。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入している。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について記入している。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入している。

17 「病歴管理体制」欄について

- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「各科管理」。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入している。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「文書」、電子媒体により保存している場合には「電子媒体」にしている。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入している。

18 「医療安全管理体制」欄について

- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「有」かつ、その人数を記入している。また、安全管理者を配置していない場合には「無」。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入している。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「有」、有さない場合には「無」としている。

19 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入している。

20 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。

21 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入しており、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入している。

2 2 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入している。

2 3 「インターネットを用いた評価システム」欄は、各々有無について記入している。

2 4 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている 1 年次及び 2 年次の合計が受入可能定員を超えていない。

2 5 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

(1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入している。

(2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類について記入している。

(3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について記入している。

(4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入している。

(5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用している場合「有」、マッチングを利用しない場合「無」を記入している。

2 6 「研修医の処遇」欄について

(1) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1 年次及び 2 年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入している。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入している。時間外手当及び休日手当を支給する場合は「有」に、支給しない場合には「無」を記入している。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものとしている。

(2) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入している。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「有」に、ない場合には「無」に○を記入している。

(3) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1 年次及び 2 年次の有給休暇付与日数を記入している。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について記入している。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入している。

(4) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入している。

(5) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」、「国家・地方公務員災害補償法の適用」、「雇用保険」のそれぞれ該当するものを記入している。

(6) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入している。

(7) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて記入している。

(8) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて記入しており、認める場合における参加費用の支給の有無についても、記入している。